

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立東唐津小学校
授業者	5年担任 梶山桂子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

「守ろう!! われらの東の浜クリーン大作戦」

#### 1-2. 学年

5年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習

#### 1-4. 単元の概要

児童は4年生までに、生活科や学級活動、総合的な学習の時間などの学習、地域の中での生活体験などで様々な活動を通して様々な学習や体験を積み重ねてきている。また、地引網体験学習や浜での持久走大会などの学校行事や「海、海、大好き集会」やうしおタイムなどの児童会活動などでも、学校裏の東の浜に何度も通り、とても親しみを持って身近に感じている。その東の浜がゴミの山で大変汚なかったことに心を痛め、「自分たちにできることはないだろうか?！」ということで、1学期に取り組んだのが『東の浜クリーン大作戦』である。6月2日をスタートに4回にわたり毎週東の浜に出かけてはたくさんのゴミを4チームに分かれて拾い集めた。学校に戻り、チームごとにゴミの重量を計測したり、燃えるゴミと燃えないゴミに分別したり、振りかえりシートに感想をまとめ感想交流をした。また、7月8日には、東京大学から2人の講師をお招きして、『唐津の海から、世界の海へ』というテーマで海洋教育の講義を受けた。海が私たちに与えてくれる8つの恵みや、海洋教育の6つの活動など貴重なお話を聴くことができ、大きな刺激を受けたと共に海洋教育への意欲が高まった。1学期の後半から2学期にかけて『東の浜クリーン大作戦』の活動の様子や感想などを各チームごとに広用紙にまとめていった。ここでまとめたものは、校内の誰もが目にしやすい階段踊り場に掲示したり、NPO法人（プレシャスプラスチック唐津）主催のワークショップ会場に展示されたりした。9月28日には、プレシャスプラスチック唐津の小嶋さんや木下さんによる「プラスチック再生授業」が5・6年合同で開かれた。どんな活動をされているのかの概要を電子黒板を使って紹介していただいたり、ペットボトルのキャップを細かく砕いてコースターに再生する実演を見せて頂いたりして、プラスチックのリサイクルについて学習した。授業の後半は、実際に東の浜に行きマイクロプラスチック採集にもチャレンジした。思っていたよりたくさんのマイクロプラスチックが取れて驚いた。この活動がきっかけとなって、単なるゴミ拾いだけで終わるのではなく、もっと環境問題に寄り添った学習や活動をしていき

たいという児童の思いが、NHKアナウンサーの小林さんをゲストティーチャーにお招きしての「SDGsのかるた作り」へとつながっていったのである。このかるた作りの後も、SDGsの17の開発目標別動画を、総合的な学習の時間を活用して数多く見て、持続可能な開発目標の学習を広げていった。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

松原や海などの自然と深く関わってきた東唐津校区の地域素材や人材を積極的に活用して、総合的な学習の時間と国語科や図工科の学習を関連付けたカリキュラムと授業実践を行えば、児童一人ひとりが、自分たちが生活する身近な地域の自然に触れ、自然と主体的に関わり、自然を守っていかこうとする基盤を育てると共に、地域を誇りに思い、大切にすることで環境問題へと意識を高めることが出来るだろう。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- (1) 身近な海の環境を守るために活動したい事柄を見つけたり、追求したい課題を設定する力。  
【関心・意欲・態度】
- (2) 海の環境を守る活動を通して、その必要性を他者に伝える方法や身近な自然の素晴らしさを維持していくために自分達に出来ることを考えたりする力。  
【思考力・判断力・表現力】
- (3) 身近な海の環境維持に関心を持ち、進んで学習に取り組み積極的に発信しようとする力。【発信力】

1-7. 単元の展開（全39時間）

時数	学習活動・主な内容	※ 教師の指導 / 主な評価 ☆ 外部連携 / 使用教材等
4	<p><b>年間の学習計画を立てよう。</b></p> <p><b>「東の浜クリーン大作戦」の計画を立てよう。</b></p>	<p>※これまでの学習や活動、体験を振り返りながら、総合的な学習の時間で取り組みたいことを出し合い、総合的な学習の年間計画を考えさせる。</p> <p>※身近な東の浜のゴミを減らすために、4つのチームを作り、班ごとに清掃活動に取り組むことを決める。 (題して、「東の浜クリーン大作戦」)</p>
12	<p><b>東の浜のゴミを拾おう。</b></p> <p><b>『東の浜クリーン大作戦』</b></p> <p>① 6月2日(木)</p> <p>② 6月9日(木)</p>	<p>※6月2日…1回目の清掃活動日</p> <p>あけぼの保育園裏の西側を中心に清掃活動を行った。わずか30分ほどの時間で各班2枚の大きなゴミ袋がばんばんになるほどたくさんのゴミが集まった。学校に戻って班ごとにゴミの重さを計量したり、分別したりして仕分け作業を行った。合計20.7kgも集まり、皆驚いた。</p> <p>※6月9日…2回目の清掃活動日</p> <p>前回はたくさんのゴミだったので、今回はリヤカーを持って行った。前回とは違う場所(東側)での清掃活動を実施した。今回もプラスチックなどの燃えるゴミを中心に合計25.6kgのゴミが集まった。</p>

	<p>③ 6月16日(木)</p> <p>④ 6月24日(金)</p>	<p>※6月16日…3回目の清掃活動日 今回は、シーサイドホテルの裏側の砂浜の清掃活動を実施した。前の2回に比べゴミは格段に少なかった。やはり、ホテル関係の方々が日々清掃されているんだなあと思った。</p> <p>※6月24日…4回目の清掃活動日 この1か月間、毎週清掃活動に取り組んできたこともあり、砂浜のゴミはとても減っていた。それでも木切れがたくさん散在していたので、みんなで掃き集め一カ所にまとめた。</p>
12	<p>海の専門家から学んで、 「海洋教育」のことをもっと知ろう。 《学習会 part1》 ●講義の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海が私たちに与えてくれる8つの恵み</li> <li>2. 海洋教育の6つのパターン       <ol style="list-style-type: none"> <li>①海に親しむ</li> <li>②海を知る</li> <li>③海を守る</li> <li>④海を生かす</li> <li>⑤海を表現する</li> <li>⑥海と共に生きる</li> </ol> </li> </ol> <p>●振り返り ●新聞づくり</p>	<p>☆7月8日(木)の2校時、東京大学から及川幸彦主幹研究員と嵩倉美帆特任研究員に来ていただき、海洋教育の講義を5・6年生にしていただいた。</p> <p>※今年度から本校が海洋教育パイオニアスクールの認定を受けたことで、「海洋教育」についての大まかな内容について話していただいた。</p> <p>※話が難しいのではないかと心配していたが、クイズあり写真あり、とても分かりやすくお話して頂いたので、あっという間の1時間だった。この講義を聞いて児童は、今までは何気なく思っていた海のことについて興味を持ち、海洋教育への意欲を高めた。</p> <p>※専門の先生方の話をお聞きして、6月に実施した清掃活動を班ごとにまとめて、発信して行くことが大切だと考え早速とりくんだ。完全に仕上がらないまま1学期が終わったので、続きは2学期に持ち越すことにした。9月いっぱい仕上げ発表会を実施した。</p>
4	<p>「プレシャスプラスチック唐津」の方々による 『プラスチック再生授業』 《学習会 part2》 ●授業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. プレシャスプラスチック唐津の紹介</li> <li>2. プラスチックについての知識       <ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴</li> <li>・種類</li> <li>・性質</li> <li>・注意</li> </ul> </li> <li>3. 手作りマシーンでのコースター作り</li> </ol>	<p>☆9月28日(火)の5・6校時、プレシャスプラスチック唐津の小嶋さんと木下さんが来校され、5・6年生を対象に「プラスチック再生授業」を実施して頂いた。</p> <p>※プラスチックについて実は知らないことがたくさんあることに気付かされる。2050年ごろには、海の中の魚よりも海洋ゴミの方が多くなることを聞いてとても驚いたと共に、海洋ゴミを減らすために自分たちにできることはないかということについても真剣に考えるきっかけとなった。</p> <p>※手作りマシーンを使ってのコースター作りを実際に体験した。ゴミとして捨てられていたペットボトルのキャップを細かく砕いたものを、機械に入れ約200度に熱して型に流すと、カラフルなコース</p>

	<p>4. マイクロプラスチックについて</p> <p>5. 東の浜に移動し、マイクロプラスチック集めにチャレンジ</p>	<p>ターが完成し、みな歓喜の声を上げた。ゴミのままであれば地球上の生き物に害を与えるであろうプラスチックが、ちょっとした工夫と努力でわれわれの生活に役立つものに再生されることを知り、とても勉強になった。児童一人ひとりのリサイクルへの意識が高まった授業となった。</p> <p>※この授業で、児童のほとんどがマイクロプラスチックを初めて目にした。マイクロプラスチックとは5ミリ以下に小さくなったプラスチックのことで、現在までにこの地球上で約1億5000万トンもあるといわれている。そのためにたくさんの生き物が命を落としたり、環境が破壊されたりと深刻な問題を引き起こしていることを知った。</p> <p>※授業後には全員で東の浜に出かけ、マイクロプラスチック集めを試みた。短時間にもかかわらず思っていたよりもたくさんのマイクロプラスチックが集まり驚いた。廊下に展示している。</p>
2	<p>プラスチック再生体験学習の取材を受ける。 12月3日の3校時</p>	<p>※東唐津小学校がNPO法人の小嶋さんや木下さんと一緒に「プラスチック再生授業」を行ったのを、ピープル放送をご覧になったNHK佐賀放送局アナウンサーの小林さんが、『是非取材させてほしい。』との旨を伝えられ、急きょ小林さんに来ていただいて、再度、プラスチック再生授業を行い、放送された。</p>
5	<p>NHKアナウンサーの小林さんを ゲストティーチャーにお招きして SDGsかるた作りにチャレンジしよう。</p> <p>1月 27日 (2, 3校時) 《学習会 part3》</p> <p>● 「SDGs」って、何だろう？</p> <p>● 「SDGsかるた」を作ろう。</p>	<p>※「かるた作り」にチャレンジすることが決まったので、事前にSDGsの17の目標の動画をできるだけたくさん見て、自分が作るかるたの目標番号を決めさせた。目標が決まった児童から読み札に書く「5・7・5」の言葉を、未来のために自分たちが出来る行動をテーマにした川柳にして考えさせた。</p> <p>☆5・6年合同での3回目の学習会である。NHK佐賀放送局アナウンサーの小林さんをお招きしての学習会。コロナウイルス感染予防のため体育館での実施とした。</p> <p>前半は、電子黒板を使って「SDGsとは何か」について話を聞いた。自分たちが総合的な学習で取り組んできたことが、SDGsに繋がっていることを改めて実感した。目標14の動画は衝撃的だった。後半は、実際にカルタ作りにチャレンジした。自分たちができることを「5・7・5」の川柳にまとめ、絵を描いた。時間内には終わらず4校時までかかって仕上げた。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ



単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

これまでに自分たちが取り組んできたことや「目標 1 4 海の豊かさを守ろう」の動画の中から、他者へ発信したいことを選択し、「SDG s カルタ」を作ろう。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の支援 / 児童の様子 / 評価の視点 (方法)
<p>1. 小林アナウンサーの自己紹介を聞く。</p>  <p>2. 「SDG s とは何か」について学ぶ。</p> <p>3. 「目標 1 4 海の豊かさを守ろう」についての動画を見る。</p> <p>4. 「SDG s カルタ作り」に挑戦する。</p> <p>5. できあがったかるたを紹介したり、今日の授業の感想を発表したりする。</p>  	<p>○ ゲストティーチャーにお招きした小林さんのプロフィールを電子黒板を使って紹介してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 2 月 3 日のプラスチック再生授業で一度お会いしていたので 2 回目となるが、アナウンサーだけでなく、唐津の海に潜って海の環境について一年間取材をし続けていらしゃることを知り（潜水アナウンサー）、児童は、より親近感を持って授業に臨むことができた。</li> </ul> <p>○ 「SDG s とは、S（サステイナブル）、D（ディベロップメント）、G s（ゴールズ）の略で、17 の持続可能な開発目標」があり、それは、世界中の誰もが安定して地球で暮らし続けられるように考えられた目標であることを再確認した。</p> <p>○ 「イルカが食べたゴミ」や「生活排水と海の汚れ」などの動画を見て、我々人間がしたことが海の生物や環境にどのような被害をもたらしているのかを学んだ。</p> <p>○ SDG s について自分たちが出来ることや、他者に発信したいことなどを 5・7・5 の川柳にまとめたり、それを絵で表現することにチャレンジした。</p> <p>○ 時間内に仕上がった人は少なかったが、4 人ほど前に出て自分が作ったカルタを紹介した。</p>  

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・初めは、総合的な学習の年間計画の中で取り組み始めた『東の浜クリーン大作戦』だったが、それがプラスチック問題→プラスチック再生授業→海の問題→海洋教育→SDGsカルタ作りへと、どんどん広がっていったことに正直言って驚いている。この学年が1年生の時からボランティア活動として行っていたことが皆、今年度の学習に繋がっていたんだということにもなる。
- ・1学期に取り組んだ東の浜清掃活動では、「ゴミ拾い」⇒「ゴミの重量計測」⇒「ゴミの分別」⇒「処分」⇒「振り返りカード記入」⇒「感想交流」⇒「まとめ・表現」という実践的な学習の過程を繰り返しながら学びを深めていくことができた。
- ・ゴミ拾いや分別作業など、毎回暑い中での活動でとても大変だったにもかかわらず、児童の主体的・積極的に取り組もうとする姿が見られた。
- ・1学期末に東大の先生方に海洋教育についてお話して頂いたことで、これまで表面的にしか見ていなかった身近な海についての興味が増し、もっといろんなことにチャレンジしたいという気持ちが高まった。
- ・今年一年たくさんのメディアの取材を受け、自分たちの授業での取り組みが紹介されたことで自信にもなったし、これからももっとたくさんの方々と協力しながら海洋教育に取り組みたいという意識が高まった。

### 4. 今後の課題

- ・今年度は、年間を見通した計画が不十分で、その時々で色々な活動や学習会を行ってきた。来年も「海洋教育パイオニアスクール」の研究指定校に認定されているので、年間を見通したカリキュラムを充実させ、できるだけ計画的に様々な切り口で海洋教育の活動に臨んでいきたい。
- ・新型コロナ対応でどこまで実施できるか分からないが、地域の方々の協力も念頭に置いて具体的な学習活動ができるとよい。
- ・GIGAスクールの取り組みにより児童一人一台のタブレットが与えられているので、情報の収集や表現などこれを生かした実践も検討していきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。